

# 医療センターニュース

新周産期棟完成記念号

<http://www.mie-gmc.jp/>

編集：三重県立総合医療センター広報紙編集委員会

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132

TEL(059)345-2321(代表)

E-mail:sogohos@mie-gmc.jp



「新周産期棟」外観

## 県立総合医療センターの基本理念・基本方針

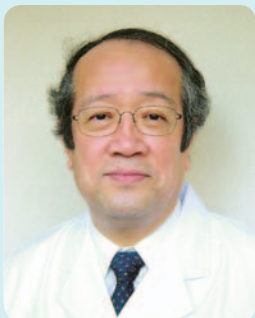
### 基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

### 基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

# 新周産期棟の完成にあたって



地方独立行政法人  
三重県立総合医療センター  
理事長 高瀬 幸次郎

当医療センターは、平成6年に名称を三重県立総合塩浜病院より三重県立総合医療センターに変更し、現在の地に新築、移転しました。先進医療機器が装備され、救急医療や癌診療はじめ種々の高度先進医療の実践に貢献してきました。周産期医療に対しても周産期母子センターで、母体、新生児への手厚い医療の提供を行ってきました。しかしながら、北勢地域では、以前より、新生児集中治療室（NICU）の病床数の不足が指摘されており、周産母子の対応に大いに不安がありました。

当医療センターでは、NICUは3床、GCU（Growing Care Unit－継続保育治療室）7床で運営されておりましたが、近年の目覚ましい医療の発展とともに診療機器が増えることによる施設の狭小化、病床数の不足など多くの問題を抱えておりました。このような状況の中で、時代に即した十分な周産期医療を行うには、現在の施設では到底困難であると判断し、新周産期母子センターの増築、拡充に踏み切りました。

NICUは3床より6床に倍増し、GCUは7床より12床に増やし、医療機器も最新の機器を導入しました。現在のNICU施設の場所は、速やかに改修しMFICU（母体・胎児集中治療室）個室5室を設置し、手厚い医療を必要とする周産母子の医療に備える予定です。

このような充実した設備が完成することができましたことは、皆様の多大なご協力とご努力のおかげであると心より感謝いたしております。

今後も当医療センター発展にご支援とご協力をお願い申し上げます。



周産期母子センター長  
兼診療部長  
朝倉 徹夫

このたび新たに周産期棟が完成し、4月1日より稼働することになりました。NICU6床、GCU12床で以前のほぼ倍となります。医師の増員、スタッフの補充・教育等のこともあり、すぐにフル稼働とはいかないと思いますが、出来るだけ早期にご要望にお応えできるよう努力したいと思っております。

今後は北勢地域のみでなく三重県内の周産期医療に十分貢献できますよう、産婦人科、小児科が協力し、パラメディカルとともにスタッフ一丸となって患者様のための医療を提供していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



周産期母子センター  
次長兼小児科部長  
杉山 謙二

当院NICUは、当医療センターの発足と同時に開設され、NICU3床＋GCU7床の計10床にて運用されてきました。社会保険の上で新生児特定集中治療室管理料に関する施設基準を満たすNICUとして、県内で早期に認可された施設として、三重県、特に北勢地域の新生児医療を担当してきました。

しかし発足当初に比べ新生児医療は飛躍的に進歩し、出生体重1000g未満の超低出生体重児を救命出来るようになりました。また社会的に低出生体重児や病的新生児の出生比率が増加するに伴い、NICU入院患者数が増加し、入院日数の長くなる患者数も増加しました。このため10床の病床では対応が困難で、特に当院外で出生した病的新生児への対応が困難な状況が続いていました。

今回の増床により三重県、特に北勢地域の新生児医療需要に対応出来るよう、ベット数を確保すると同時に新生児医療を担う医療スタッフの育成、地域の医療機関との連携等を向上させたいと考えております。よろしくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

# 「周産期母子センター」の拡充(新周産期棟オープン)



## ●NICU (新生児集中治療室)

高度医療機器も充実させ、より高次の治療環境を提供できる様になっています。  
医療への信頼を通じて、御家族の安心につながります。  
ディベロップメンタルケアを考慮した照明調光システムなど、赤ちゃんにも優しい環境を整えています。

## ●GCU (継続保育治療室)

木目調の空間・優しい採光の中で「カンガルーケア」もとり入れて、退院までの赤ちゃんとお家族の絆を深める環境を提供いたします。



## ●面会コーナー

御両親以外の御家族の方との絆を深めていただくため、斜めガラスを配置して、赤ちゃんの成長経過が見ていただけるようなコーナーにしています。



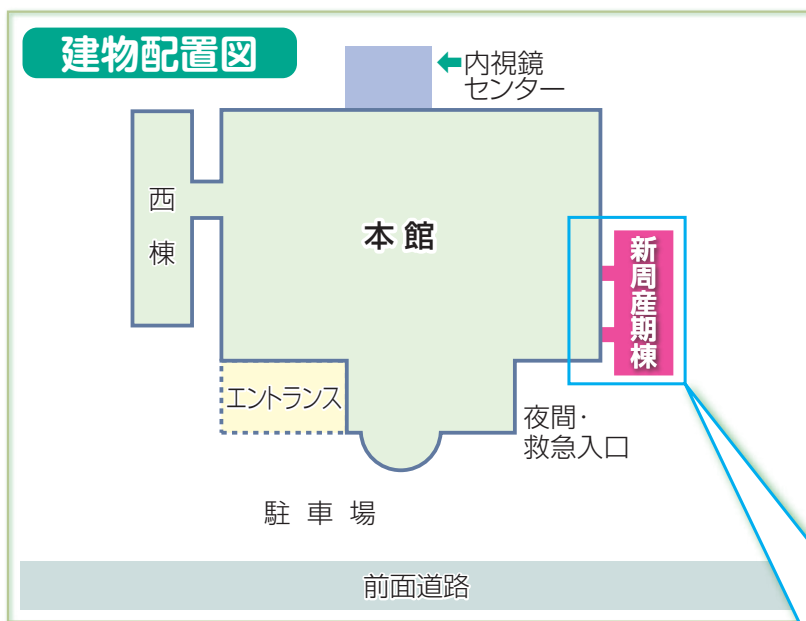
## ●家族控室

長期入院や退院近い赤ちゃんの生活リズムを知っていただいたり、自宅生活に向けた御家族の支援のため、赤ちゃんと同室できる部屋も用意しています。



「周産期母子センター」スタッフが協力して、患者様御家族の期待に応えるよう頑張ります。

# 新周産期棟



平成25年4月1日から

**NICU**

3床 → 6床

**GCU**

7床 → 12床

に拡充し、オープン  
いたします。

さらに、これからは

**NICU** = 9床

**GCU** = 18床

**MFICU**  
(母体・胎児集中治療室) = 5床

にまで、拡充・整備  
していく予定です。

## 新周産期棟 平面図

